

「原水爆禁止2014年世界大会」にご参加の皆様、並びに関係者の皆様に心から敬意を表します。

今年は、広島・長崎の被爆から69年目の年を迎えます。

今日では、戦争を体験したことのない世代が国民の大多数を占めるようになり、今の日本において、私達が戦争や紛争の厳しい状況に触れるのはマスメディアからの情報のみとなっています。

世界に目を向ければ、テロ行為や紛争などが、いまだに各地で繰り返されています。

東日本大震災及び原発事故は、エネルギー問題にも一石を投じ、電力消費中心の生活など従来の価値観を問い直す機会となりましたが、3年たった現在でも、多くの方々が避難をされています。

また、核兵器の廃絶に関しては、来年、国連の場で、核拡散防止条約の再検討会議が予定されており、核兵器のない世界の実現に向けた大きな一歩となることを希望するところです。また、本市においては、昭和33年に全国に先駆け平和都市宣言を行い、「核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のため、世界の人々と相協力してその実現を期する。」との考えに立ち、講演会や市内の小・中学校に出向いて平和について一緒に考える出前講話など幅広く平和推進事業を行っています。

こうした中、核兵器のない世界を目指し、核兵器廃絶の進展に向け、取り組まれている貴団体の活動は、誠に意義のあることと思います。

この大会が国や地域を越えて平和の声と行動を広める場となりますよう心からお祈り申し上げ、核兵器の禁止と恒久平和の実現への思いを託した私のメッセージとさせていただきます。

平成26年8月4日

鎌倉市長

松尾 崇